



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひるば

第52号 発行日/2001.3.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

総合的な学習の時間
PART II

生命の神秘・地域を考える・IT演習など

地域・学校の特色を生かした授業

サケの飼育で命の尊さを学ぶ

中里小学校では5・6年生が3000匹のサケの稚魚を育てています。同校では昨年もサケの稚魚の飼育を試みましたが、3分の1を死なせてしまいました。悲しみを実感した子どもたちは、同じ失敗を繰り返さないために今年度は県の専門家から指導を受け、卵からの育て方や管理法、放流への条件などを詳しく学びました。卵がかえり稚魚になって泳ぐ様子を毎日観察し日記に細かく



稚魚を傷つけないよう慎重に水を交換

中里小学校
く記しました。また水槽の水も子どもたちが里川から運び適温にして交換しています。こうした活動の様子を、参観日の発表を通して保護者にも知ってもらい、発表力を養うばかりでなく家庭での話し合いのテーマにもなっています。

市街地活性化に子どもの提案

中里小学校の総合的な学習の時間のテーマは「ひたち！元気な町づくりになるほど・ザ・中里小路」。同校は日立市の中心部に位置し、シビックセンターや駅、病院、商店街や工場などのほか、平和通りの桜並木、近くには会瀬漁港など、教育的にもいろいろな施設や環境に恵まれています。しかし一方では市街地のドーナツ化による人口の減少、空き店舗の増加などの問題も抱えています。中小路小ではこうした問題に全校

ます。「子どもたちは最初サケの卵を見て、食卓に上るイクラにしか見えなかったようです。しかし、卵の中で目が動き始めるのを見て生命の神秘を知り、稚魚の成長や病気、死によって命の尊さを実感していきます」と校長の根本先生。水ぬるむ3月、元気に育った稚魚たちは子どもたちの手で里川に放流され、大自然に帰っていきます。



グループごとのテーマで町を研究しました。市役所などの多くの公共施設が近いことから、行政などのアドバイスをもらったり地の利を生かして活動もしやすいそうです。また、コミュニティの協力や孫たちのためにと力を貸してくれるお年寄りも多く、地域の教育力の大きさを実感しています。

インターネットで他県と発信

教室に居ながらして他県の学校と交流。そうしたインターネットを使っての楽しい授業を行っているのは東小沢小学校です。昨年12月に4年生が行った滋賀県

東小沢小学校の様子などを紹介しました。東小沢小は、近くに久慈川が流れ田畑に囲まれた豊かな自然環境にあること、それら自然の美しさを守るためにクリーン作戦を行っていることなどを報告。対する蒲生西小では日本最大の湖「琵琶湖」があり、伝統工芸や特産物に恵まれる一方、湖の汚染の問題を抱えていることなどの報告がありました。また、クイズ形式での鹿島アントラーズや日立製作所の製品の紹介などもあり、それぞれの地域の特色を楽しむための子どもらしい工夫が各所になされていました。



相手の学校に日立市を紹介
蒲生西小学校との授業では、両校の子どもたちが地域や学校、クラスの

若い人・働く人の参加を多く 企業部会の「皆さんと語り合う会」

企業部会では13年度から産業部会名称を変更するのを機に、名実ともに変わろうと、「皆さんと語り合う会」を開催、領域の拡大、連携、事業の組立てなど幅広いテーマで意見交換、新年度からの活動が期待されます。

・熱意ある人の発掘や養成、企業内を知っている人との連携、各種のジャンルの人や若い人などの参加などで活性化を図る。
・手を汚して活動することで共感を。

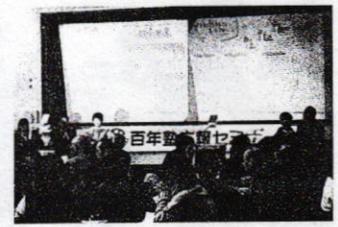


ブレンストーミングでワイワイ

- 語り合う会で出た主な意見
- ・百年塾を通じて多くの人と出会い視野が広がった。現役時代から参加する方策を。
- ・働く人たちが活動しやすい環境を。
- ・PRや声かけにつとめる。
- ・中小企業の人たち向けの事業立案。
- ・定年後の人たちへの橋渡しと、年次別セミナーの開催。

公開審査会でさらに研修

去る1月20日(土)市視聴覚センターで、広報紙コンクールが行われました。小学校のPTA、コミュニティ団体など、43団体から応募があり、広報紙編集にたずさわっている約150人が参加しました。これは例年をしのぐ大盛況で、広報紙によせる市民の高い関心が示されたものと考えます。



辛口の批評がボンボン紙面にも、委員によっては、当然のことながら異なる意見もあって、生々しい審査風景が再現されました。関係者からは、「今年の広報紙は各団体とも例年になくレベルアップしている。これまで毎年広報研修会を繰り返

途中、画像が停止するハプニングもありましたが、画像を通して対話する楽しさを体験しながらの生き生きとした授業がすすめられているようです。

してきた効果ではなからうか」との発言があり、また、参加者からも「参考になることが多かった」という声が多くありました。

百年塾広報紙コンクール入賞団体

賞	小学校	中学校	コミュニティ	社協
本部長賞	大久保	台原	日高	日高
審査委員長賞	滑川	大久保	田尻	市ボラ連
広報部長賞	堀山	多賀	大みか	田尻
企画賞	豊浦	駒王		
フォト賞	油縄子	大久保		
期待賞			宮田	助川

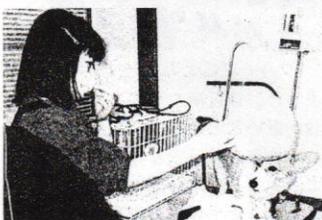
将来に夢をつなぐ職業体験

市内全中学校2年生が500事業所で

市内の全中学校では、12年度より県の新規事業である「中学生社会体験事業」を受けて『ひたちさんでいチャレンジ』と名称をつけ、進路学習の一環として職業体験学習を実施しました。生徒たちの希望する延べ540事業所での2日間にわたる体験で、生徒たちはあらためて仕事の大変さを実感したようです。この体験が将来の夢や生き方を考えるきっかけになりました。体験後にはどの学校でも、保護者や協力していただいた事業所の方々にも参加の発表会が行われました。

ペットの世話

犬の散歩をさせたり、食事をあげたり、簡単な爪きりなども体験してもらいました。健康管理や衛生面に気を使うことも大切で、生き物を扱うペットショップは365日休みなく世話が続きます。子育てと同じで見た目より結構ハードです。



ワンちゃんも気持ちよさそう

「ペットはおもちゃではありません。犬にも感情もあり、個性もあります。家族の一員として一生責任をもって飼わなくてはならないことや、生き物の命の大切さや重さを伝えたかったです。」とペットショップあんあんの田中まゆみさん。

自動車の整備

車や部品の掃除をしたり、簡単な整備作業の手伝いをしました。車に手を触れることができ、とてもうれしかったようです。ハンドルをまわすとなぜ車がまがるのか、ミッションなどの質問があいつぎ、興味を持ったようです。

山永自動車整備の永山社長は「今の子どもは甘えがある」「中学を卒

ンスが印象に残りました。



子どもや村人が大歓迎

ムーレ村に学校完成

ひたち生き生き百年塾が建設

子どもたちの「ナマステ」の声に迎えられ、飯山団長以下15名がネパール ムーレ村学校完成式に参加しました。

国が10年かけてもつくれなかった学校を、ひたち生き生き百年塾が、1年で建設。感謝する第二村長の姿と子どもたちのすがすがしい歌とダ

ワークショップを楽しく学ぶ

コミ推のコミュニティリーダー育成講座

コミュニティづくりのリーダー育成をめざす「元気ひたちまちづくり講座」が開かれ、コミュニティほか、PTAや子ども会、地区社協のリーダーなど、約130人が参加しました。

この講座は、市コミュニティ推進協議会の創立25周年記念事業として、講演会、ワークショップ学習、発表と交流会の3部構成で開催されたものです。今回は、市内のコミュニティを南、北、中部の3ブロックに分け、2月4、17、18日にそれぞれの会場でワークショップの手法を学びました。

ワークショップとは、集団で問題解決を図る手法で、講師は茨城大学工学部の志摩邦雄先生。午前中は、お互いに気軽に話し合えるコミュニケーションのつくり方、ブレインストーミング法、KJ法などを学びました。

午後は、5~6名がグループを組む、実際のワークショップの演習。テーマ設定、アイデア出し、トラ

ンプKJ法で鳥づくりと表札づくり、そしてポスターへのまとめなど、プログラムが進むにつれて、興味と楽しさが増し、時が経つのも忘れるほどでした。演習テーマは「全員参加のまちづくりをめざして」「高齢社



自己紹介でワークショップの肩ならし

会のまちづくり」「地域活性化の意識づくり」「近所づきあい」「犬のふん」「PTAと地域の連携」など、日常の活動で抱えている問題が出され、その解決策も、そのまま活用で

業しても車のホイールを持ち上げる体力がない」など問題点も指摘。「生きた職場で客との対応から、相手のことを考えると、車の問題一つでも応用のきく柔軟な考え方の必要性を学んでいるようです」と言っています。



やっぱり体力も必要です

ホテルサービス

今年度は8校から依頼があり、すべて受け入れましたが、調理を希望する生徒が多かったのが特徴です。

体験に入る前に全員がホテル全体のイメージがつかめるようにと、特徴や流れ、大切にしていることなどの学習からはじめ、調理部門でも任せられることはできるだけ任せられる方針で実施しました。

「お客さんや仲間同士でも相手の立場になって考えられることが重要



緊張しながら水のサービス

で、どのように仕事をしたら相手満足できるのか。例えばお水の出し方、位置、どんな言葉を添えるかなど、さりげなく見える動作でも何一つ無駄なことではないこと。そんな仕事の意味が伝わるようなプログラム

きるものがたくさんありました。今後のコミュニティ活動に活かされる

を用意しました」と、ホテルサンガーデン日立の担当者の滝口有子さん。

すし・日本料理

一日の仕事がどのようにスタートするのか分かってもらおうと、1日目は店の周辺の清掃からはじめ、2日目には公設市場での仕入れにも同行、魚の種類、店で使用する魚の選び方などを学びました。

昼食時にはホール係を担当し、茶こしを使ってのお茶入れなども体験。忙しい時間を縫って、練習用に買った鱈の3枚おろしとひらきを指導、その鱈で自分用のにぎり寿司やフライにも挑戦しました。家庭でにぎり寿司をつくった生徒や、寿司屋さん



気持ち引き締まります

になりたいと話した生徒もいたとか。

「寿司をにぎるだけでなく、経営などさまざまな学習が必要なことを分かってもらい、しっかり学んでほしいと思っています」と、浦島寿司店主の皆川勝之さん。



これらの体験学習について助川中学校の鈴木先生は、「生徒たちが『働く』ことを通して、人間の生き方を学び、『人とのふれあい』から、相手のことを思いやるという、学校では教えられないことをも掴んでいるようだ。まちがいなく効果が出ている」と結んでいます。

市民教授

あの人この人

2000.9月~2001.2月に登録された方(敬)

■笠井梨加 那珂町(マンガイラスト)

■原田シリー 田尻町(タイ語・タイ料理)

■柗屋千祐 水戸市(三味線音楽:古典~歌謡曲)

お問い合わせは生涯学習課または、百年塾サロンまでご連絡を!

☎23-9165

日立さくらまつり 百年塾

出あいの休憩所

ようこそ!

■とき 4月7日(土)12:00~5:00

4月8日(日)10:30~3:00

■ところ 平和通り白木証券前テント

■内容 ・パネル展示

・昔のあそびコーナー

(けん玉お玉やどり・輪投げなど)